

令和 2 年 6 月 19 日現在

機関番号：82715

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2017～2019

課題番号：17K02405

研究課題名（和文）ポーランドと旧ソヴィエト連邦の視覚デザインとその周辺領域の比較研究

研究課題名（英文）Comparative Studies of Visual Design and Related Areas between Poland and Former Soviet Union

研究代表者

初山 昌夫（MOMIYAMA, Masao）

神奈川県立近代美術館・普及課・課長

研究者番号：80393073

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,200,000円

研究成果の概要（和文）：ポーランドのヴィラヌフ・ポスター美術館の協力を得て、神奈川県立近代美術館が所蔵する290点のポーランドのポスターの全容を明らかにし、その内176点を2019年4月から6月まで同館で開催した「日本・ポーランド国交樹立100年記念 ポーランド・ポスター展」で展覧した。それらのデータや考察は図録兼書籍『神奈川県立近代美術館所蔵 ポーランド・ポスターの光彩』に掲載した。残る114点のデータとポスターデザイナーの評伝は、2020年3月に発行した『「ポーランドと旧ソヴィエト連邦の視覚デザインとその周辺領域の比較研究」報告書』に掲載した。また、研究ノート「ポーランドの歴史とポスター芸術の展開」も掲載した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ポーランドの美術館との国際研究協力によって、国内美術館に所蔵されるポーランドのポスターに新たな光を当て、国交樹立100年を記念する展覧会を開催することで、それらを文化資源として国民に還元することができた。また、ポスター制作の背景にあるポーランドの歴史や文化についても、東西ヨーロッパの枠組みの変化を踏まえた新しい観点から分析することができた。

研究成果の概要（英文）：With the cooperation of Poster Museum at Wilanow in Poland, this study revealed the whole picture of those 290 Polish posters that The Museum of Modern Art, Kamakura & Hayama owned. 176 of them were exhibited at the museum in Hayama from April to June 2019, on the occasion of the 100th anniversary of the establishment of diplomatic relations between Japan and Poland. Their detailed data were published in the exhibition catalogue. Those of the rest were included in the report issued in March 2020. The study note “The History of Poland and Its Poster Art” was also carried in the report.

研究分野：美術史

キーワード：ポーランド ポスター デザイナー ヴィラヌフ ワルシャワ 美術アカデミー 社会主義 ソヴィエト連邦

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

研究開始の2017年度当初、神奈川県立近代美術館には約300枚のポーランドのポスターが収蔵されていた(以下「収蔵ポーランド・ポスター」と記す)。その多くは同館で1975年に開催された「ポーランド現代ポスター展」と1980年に開催された「ポーランド現代版画ポスター展」に出品されていたが、それ以外のポスターも含まれていた。

一方、研究代表者は、2013年度から2015年度に実施した科学研究費助成事業基盤研究(C)「旧ソヴィエト連邦における宣伝印刷物の文化的研究」(課題番号25511020)において、旧ソヴィエト連邦のポスターを研究対象として扱ったことから、その手法(文字情報の分析)を収蔵ポーランド・ポスターに応用し、それらを中心とするポーランドと旧ソヴィエト連邦の視覚デザイン等の比較研究を着想した。

2. 研究の目的

収蔵ポーランド・ポスターの文字情報の調査とポーランドのヴィラヌフ・ポスター美術館等での現地調査を通して、まず、作品を同定し、その後、ポーランドにおけるポスターの制作過程やデザインの特徴、その背景にある政治状況等を明らかにするとともに、旧ソヴィエト連邦の視覚デザインと比較考察する。また、写真などの周辺領域についても調査する。収蔵ポーランド・ポスターの詳細なデータは公開し、調査研究の成果は、研究代表者が企画している展覧会やその図録などで公表するとともに、収蔵ポーランド・ポスターを展覧することにより、この文化資源を国民に還元することを図る。

3. 研究の方法

2017年度には、収蔵ポーランド・ポスターの詳細な調査を実施し、ポスター上のあらゆる文字情報を収集し、それらを解読、翻訳した。旧ソヴィエト連邦のポスターと同様、印刷情報は周縁部に略記されていることが多い。また、ヴィラヌフ・ポスター美術館学芸員の調査協力を得ながら作品の同定を進めた。

収蔵ポーランド・ポスターの状態を維持するために、2018年度にはポスター額を購入し、中性紙マットに固定して額装することで、安全に扱えるように計らった。

2019年4月から6月には神奈川県立近代美術館 葉山で「日本・ポーランド国交樹立100年記念 ポーランド・ポスター展」を開催し、14人のポスターデザイナーによる176点を出品した。この展覧会準備に際して、ポスターデザイナー本人や遺族に連絡をとり、聞き取りも行った。

11月には、ロシアの国立トレチャコフ美術館新館、ポーランドのヴィラヌフ・ポスター美術館、ウッチ美術館、ポズナン国立美術館にて資料調査を行い、ヴィラヌフ・ポスター美術館の学芸員と報告書について協議した。また、ポスターデザイナーの遺族の案内でワルシャワ美術アカデミーとデザイナーのアトリエを調査させてもらった。

4. 研究成果

所蔵ポーランド・ポスターの調査の結果、2018年9月までに組作品を含む全作品を同定することができ、全容は32人のポスターデザイナー(ボグスワフ・バリツキ&スタニスワフ・ワベンツキの1デザインチームを含む)による290点であると判明した。ここから、2019年4月6日から6月23日まで開催した「日本・ポーランド国交樹立100年記念 ポーランド・ポスター展」に、下記の14人のポスターデザイナーによる176点を出品した。

1. ユゼフ・ムロシュチャク	Józef Mroszczak (1910-1975)
2. ヘンリク・トマシェフスキ	Henryk Tomaszewski (1914-2005)
3. フベルト・ヒルシエル	Hubert Hilscher (1924-1999)
4. マチエイ・ウルバニェツ	Maciej Urbaniec (1925-2004)
5. ヤン・レニツァ	Jan Lenica (1928-2001)
6. ヤン・ムウォドジェニェツ	Jan Młodożeniec (1929-2000)
7. ロマン・チェシレーヴィチ	Roman Cieśliewicz (1930-1996)
8. フランチシェク ・スタロヴィエイスキ	Franciszek Starowieyski (1930-2009)
9. ヴァルデマル・シフィエジ	Waldemar Świerzy (1931-2013)
10. カロル・シリフカ	Karol Śliwka (1932-2018)
11. ボグスワフ・バリツキ &スタニスワフ・ワベンツキ	Bogusław Balicki (1937-2010) & Stanisław Łabęcki (1935-)
12. レシェク・ホウダノーヴィチ	Leszek Hołdanowicz (1937-)
13. ミェチスワフ・グロフスキ	Mieczysław Górski (1941-2011)
14. ヴワディスワフ・プルタ	Władysław Pluta (1949-)

これら14人のポスターデザイナーについては、ヴィラヌフ・ポスター美術館のマリウシュ・クノロフスキ主任学芸員とイザベラ・イヴァニツカ学芸員の協力を得て、デザイナー本人またはその遺族、あるいは著作権管理団体に連絡を取り、画像の使用許諾手続きを行った。また、176点の作品情報と一部の画像を神奈川県立近代美術館の所蔵品データベースで公開した。

また、2019年4月には、研究代表者が編著者として株式会社東京美術から展覧会図録兼書籍『神奈川県立近代美術館所蔵 ポーランド・ポスターの光彩』（以下『ポーランド・ポスターの光彩』と記す）を刊行し、巻頭論文「ポーランド人民共和国のポスター芸術と神奈川県立近代美術館のポーランド・ポスター」と14人のポスターデザイナーについての解説を執筆し、巻末に展覧会出品作品176点の詳細なデータを掲載した。また、ユゼフ・ムロシュチャクのご子息マルチン・ムロシュチャク氏には、1970年頃のワルシャワ美術アカデミー・デザイン学部のユゼフ・ムロシュチャクとヘンリク・トマシェフスキのアトリエについて寄稿してもらった。

神奈川県立近代美術館 葉山で開催している学芸員による専門講座「葉山美術講座」の2019年度第3回講座として、6月5日に「ポーランド人民共和国の社会とポスター芸術」、第4回として同月19日に「ポーランドとソヴィエト連邦のポスター比較試論」という連続講演会を行った。その概要は、研究ノート「ポーランドの歴史とポスター芸術の展開」として、後述の報告書に掲載している。この連続講演会では、ソヴィエト連邦のポスターとの比較のために、戦後のポーランド人民共和国のみならず、戦前のポーランド共和国のポスターについても論じた。その通史的視点は、2019年9月30日から10月11日まで『日本経済新聞』に掲載した「美の十選 ポーランド・ポスター」に反映している。

同年11月には、ロシアの国立トレチャコフ美術館新館、ポーランドのヴィラヌフ・ポスター美術館、ウッチ美術館、ポズナン国立美術館にて資料調査を行い、とりわけヴィラヌフ・ポスター美術館では、上記14人以外の18人のポスターデザイナーとふたりの写真家（ヴィトルト・ヴェングジンとヤン・ポルトキューヴィチ）の評伝を報告書に寄稿してもらうことについて、イヴァニツカ学芸員とアレクサンドラ・レヴァンドフスカ学芸補助員と協議した。また、フランチシェク・スタロヴィエイスキのご子息アントニ・スタロヴィエイスキ氏には、ワルシャワ美術アカデミーのデザイン学部とご自身が准教授を務める絵画学部を案内してもらい、さらに、フランチシェク・スタロヴィエイスキのワルシャワ市内のアトリエを調査させてもらった。

18人のポスターデザイナーは下記の通りである。ただし、収蔵ポーランド・ポスターでは、トメク・シコラはアンジェイ・クラウゼと共作であったため、後者の項番30に統合している。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 15. グスタフ・ボフダン・マイェフスキ | Gustaw Bohdan Majewski (1909-1986) |
| 16. ユリアン・パウカ | Julian Pałka (1923-2002) |
| 17. タデウシュ・ヨドウォフスキ | Tadeusz Jodłowski (1925-2015) |
| 18. ヴィトルト・ヤノフスキ | Witold Janowski (1926-2006) |
| 19. タデウシュ・グラボフスキ | Tadeusz Grabowski (1929-) |
| 20. イェジ・フリサク | Jerzy Flisak (1930-2008) |
| 21. ボジェナ・ヤンコフスカ | Bożena Jankowska (1934-) |
| 22. ゲラルト・ラプス | Gerard Labus (1934-1988) |
| 23. マレク・フロイデンライヒ | Marek Freudenreich (1939-) |
| 24. ヤン・ヤロミル・アレクシオン | Jan Jaromir Aleksion (1940-) |
| 25. スタニスワフ・クルスカ | Stanisław Kluska (1940-) |
| 26. ヤクブ・エロル | Jakub Erol (1941-2018) |
| 27. トマシュ・ユラ | Tomasz Jura (1948-2013) |
| 28. パヴェウ・ウドロヴィエツキ | Paweł Udorowiecki (1944-2002) |
| 29. グジェゴシュ・マルシャウエク | Grzegorz Marszałek (1946-) |
| 30. アンジェイ・クラウゼ
(& トメク・シコラ) | Andrzej Krauze (1947-)
(& Tomek Sikora (1948-)) |
| 31. マルチン・ムロシュチャク | Marcin Mroszczak (1950-) |

研究代表者が編集し、2020年3月に神奈川県立近代美術館が発行した『「ポーランドと旧ソヴィエト連邦の視覚デザインとその周辺領域の比較研究」報告書』には、『ポーランド・ポスターの光彩』に掲載していない収蔵ポーランド・ポスター114点に加え、マルチン・ムロシュチャク氏からの新規寄贈ポスター5点を加えた119点の詳細なデータ、イヴァニツカ学芸員とレヴァンドフスカ学芸補助員が執筆した18人のポスターデザイナーとふたりの写真家の評伝を掲載し、『ポーランド・ポスターの光彩』の補遺の機能を持たせている。

また、2019年12月から国立映画アーカイブと京都国立近代美術館を巡回する「日本・ポーランド国交樹立100周年記念 ポーランドの映画ポスター」展に協力し、2020年3月21日には京都国立近代美術館で「ポーランド・ポスターの歴史と魅力」という講演を本研究に基づいて行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、講演会は中止された。



〔その他〕

日本・ポーランド国交樹立100年記念 ポーランド・ポスター展
http://www.moma.pref.kanagawa.jp/exhibition/2019_polishposters

『日本経済新聞』「美の十選 ポーランド・ポスター」
<https://r.nikkei.com/persons/%E7%B1%BE%E5%B1%B1%E6%98%8C%E5%A4%AB>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----